



レタス



発行日：令和7年11月10日

1. 卸売価格の動向

○214円/kg (11月6日)

➢ 年比：111%

○11月の価格見通し

平年を下回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○525円/kg

(10月10日全国平均)

➢ 前月比：87%、年比：103%

➢ 東京：187円 (1玉)

➢ 大阪：244円 (1玉)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：9/20 (前月5/20)

➢ 大阪：3/10 (前月3/10)

(機関調べ)

3. 家計消費動向

○169g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：104%

➢ 前年同月比：117%

○1,897g/人 (2024年年間)

➢ 前年比：93%

(総務省統計局家計調査)

4. レタスの卸売数量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



5. レタスの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県西 (10/14)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
群馬県あがつま (7/23)	前年並み	平年並み	早い	早い
長野県南佐久 (9/19)	減少	やや不良	平年並み	平年並み
静岡県周智 (10/22)	減少	平年並み	平年並み	—
静岡県西遠 (10/27)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (10/17)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (10/21)	減少	やや良	平年並み	平年並み
福岡県JAみい (11/5)	前年並み	やや良	早い	平年並み
長崎県島原雲仙 (11/4)	前年並み	やや不良	早い	平年並み

※特記ない場合は平年比。 () 内は調査日。
(機構調べ)



茨城県県西：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（11/8～12/5）

週 別 の 天 気				
11/8～11/14 北日本日本海側では、寒気の影響で、半年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響により、半年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/15～11/21 北日本日本海側では、寒気の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北・東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
11/22～12/5 北日本日本海側では、寒気の影響を受けにくく、半年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、半年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、半年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、半年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、半年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
地域	日本海側	太平洋側	平均気温（1か月）	降水量（1か月）
北日本	低30 高40 高30% ほぼ平年並み の見込み		少40 36-40 多20% 半年並み少ない見込み	少20 38-40 多40% 半年並み多い見込み
			少40 36-40 多30% ほぼ平年並み の見込み	少20 38-40 多50% 多い見込み
東日本	低20 高40 高40% 平年並み高い見込み		少50 36-38 多20% 少ない見込み	少10 38-30 多60% 多い見込み
			少40 36-40 多20% 平年並み少ない見込み	少20 38-30 多50% 多い見込み
西日本	低20 高30 高50% 高い見込み		少50 36-38 多20% 少ない見込み	少10 38-30 多60% 多い見込み
			少40 36-40 多20% 平年並み少ない見込み	少20 38-30 多50% 多い見込み

(気象庁 1 フリー 年観測)

8. 輸入動向（生鮮結球レタス）

○ 349 t (9月輸入量) 3,000 (トン)

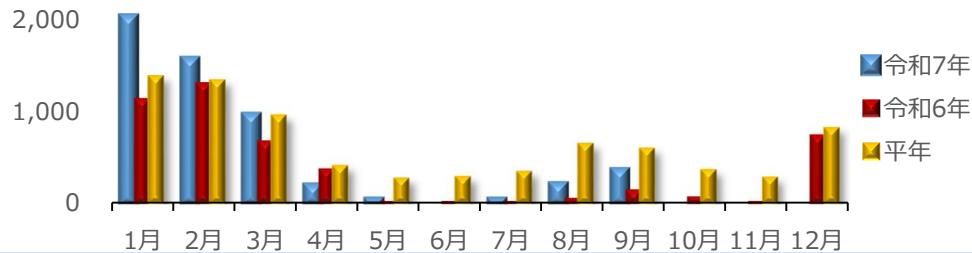
➤ 前年同月比：262%

○輸入先国ベスト3

1位 中国 326トン

2位 米国 23トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

10月は、長野産が終盤での残量は少ない中、後続の茨城産が中旬にピークとなり潤沢感から価格は下落した。下旬は、降雨により数量が減って価格が上昇した。

11月は、茨城産が終盤となるが兵庫産など西日本からの入荷が増えてくる。出荷数量はやや平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793